

# 留学生、就職の心構え

## 県立大でセミナー 中国人ら参加



日本企業就職のための心構えなどを学ぶ外国人留学生＝28日、永平寺町の県立大福井キャンパス

た。

名古屋市で外国人留学生の就職支援を行う企業の担当者が講師を務め、「企業が市場として新興国に注目する環境は皆さんの就職にもチャンス」と強調。商品開発や営業などのスキルが求められると説いた。

また、日本企業は採用時にコミュニケーション能力を重視すると説明。

「就職活動は試験でなくマッチング。自身の強みを見極め、会社のニーズを知り積極的に売り込んでほしい」と呼び掛けた。

三谷商事子会社が半導体の事業買収

県内企業のグローバル化が進み、即戦力として外国人留学生への関心が高まる中、就職支援につなげようと初めて企画。県立大、福井大、福井工大から中国やベトナム国籍の14人が参加し

県アジア人材基金は28日、外国人留学生のための就職セミナーを永平寺町の県立大福井キャンパスで開いた。県内の留学生が、日本企業が求める資質や就職活動のスケジュールを学んだ。

# 日本で就活 心構え学ぶ

外国人留学生 県立大でセミナー



留学生らに就職活動時の心構えについて話す張敬清さん(奥)＝永平寺町の県立大福井キャンパスで

県アジア人材基金事務局(川田達男理事長)は二十八日、永平寺町松岡兼定島の県立大福井キャンパスで「外国人留学生のための就職促進セミナー」を初めて開いた。県内の大学や大学院に通う留学生十四人が就職活動時の心構えを学んだ。

講師には、中国出身で留学生への就職支援活動をする「Keisei」(名古屋市)の代表取締役、張敬清さん(三セ)が招かれた。

張さんは、日本企業は新卒採用やコミュニ

ケーション能力を重視すると指摘。その上で「自分が何をやりたいかを軸に企業を探して。早期活動や自分を売り込むことなどが大事」とアドバイスした。

県内企業への就職を希望する李巍さん(三巴)は「福井大学院一年」は「中国は既卒採用も多く、キャリア重視。日本は重視することが違ってびっくり」と話していた。

セミナーは同事務局の外国人留学生への就職促進活動の一環。

(松原育江)